

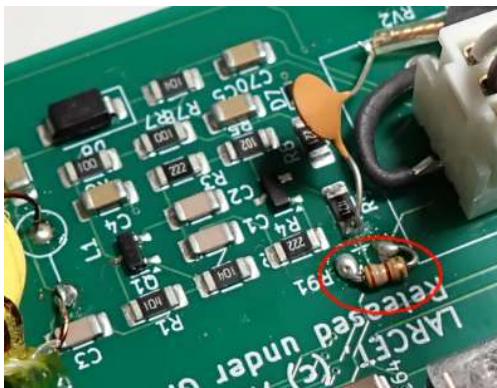
LARCSet VFO L1組み立て

2026/1/25

LARCSet VFO部分L1の組立が悩ましいところなので、やり方を示します。

## RV2 配線

## R91

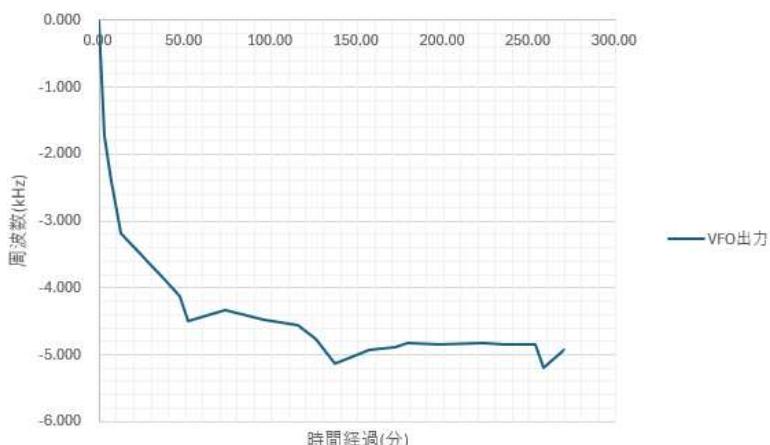
発振停止	RV2 を CCW (反時計回り) にしますと、発振停止になりました。
R91 調整	 <p>R91 : 0Ω 搭載</p> <p>カットアンドトライにて R91 を可変したところ、<math>R91=135\Omega</math> 以上にすれば発振するようです。</p> <p>手持ちの関係で、<math>R91=180\Omega</math> にしました。</p>  <p>R91:180Ω</p>

## L1 配置 周波数変動

L1 縦		
L1 横接着		
差分：接着により $4008.712 - 3978.158 = 30.554 \text{ kHz}$ 発振周波数が下がります		

## VCO 出力 ドリフト

VFO 出力周波数変化



この結果から、電源投入時から 5kHz 程度下がると判明しました。

## VFO L1巻き数調整

L1 縦、横の違いによる周波数変動	-30.544kHz
VFO ドリフト	-5kHz
合計	-35kHz

以上から、組み立て L1 縦設置時には目標周波数から 35kHz 高めで調整すればよさそうです。